

# 山江村 地域づくり研究所

山江村地域づくり研究所では、山江村の過去の資料を集め、村の現状のデータを収集しています。また、村の暮らしの中でICTの活用を検討することで、豊かな暮らしの実現を研究します。今回は6月18日に開催した山江村未来塾について詳しくお伝えします

## 山江村未来塾 - さあ山江村の未来を語ろう -



山江村のより良き未来を創造するため、地域づくりの在り方を考える山江村未来塾。今年は6月18日（日）に山江村農村環境改善センターで開催しました。山江村未来塾では、まず内山村長が挨拶。次に100人委員会の各部会の活動報告が行われ、そのあと早稲田大学名誉教授 宮口侗迪氏が「時代にふさわしい農山村の価値をつくろう」という演題で講演しました。最後に内山村長と宮口教授、そして100人委員会の3人の部会長の参加のもと、「誰もが元気で暮らしやすい村を目指して」というテーマでパネルトークを行いました。

## 100人委員会の各部会の活動目標

100人委員会は昨年4月に開催した山江村未来塾から、「山江村地方創生情報化戦略」の内容を基にこれからの山江村の在り方について、9つのそれぞれの分野ごとに話し合いを続けてきました。今回の山江村未来塾では、各部会長から今年度の活動目標について説明が行われました。各部会の活動目標を下の表にまとめました。

|           |                          |
|-----------|--------------------------|
| 情報発信      | PR 動画の作成、地域情報発信など        |
| 環境防災      | 自然を活かした遊び場づくり、環境美化運動など   |
| 福祉        | 高齢者がイキイキと働く場づくり、子ども食堂など  |
| 健康・スポーツ   | 救急救命法の普及のためのビデオ作製など      |
| 文化・教育     | 地域の逸話等の伝承、花まつりの絵本づくりなど   |
| 集落宮農・地産地消 | 若手農業者の勉強会、農業者への情報サイト構築など |
| やまえ栗ブランド  | 栗栽培マニュアルの作成と普及活動など       |
| 観光・交流     | ボンネットバスの観光活用、観光ガイドの育成など  |
| 食の提供      | 朝市の開催、山江らしい食の開発など        |

## 時代にふさわしい農山村の価値をつくろう 早稲田大学名誉教授 宮口侗迪氏

宮口教授の専門は社会地理学・地域活性化論。1946年富山県生まれ。総務省過疎問題懇談会座長などを勤め、広い視野から日本の地方社会の在り方について発言をされています。以下講演内容抜粋。



日本の水田はヨーロッパの小麦畑の8倍以上の収穫がある。3反百姓という言葉があるが、3反で十分生活出来ていた。自然から価値を取り出すワザの蓄積が村にはある。都市の若者は、自然豊かな土地柄（風土的価値）、地域の人のワザ（人間的価値）、人と人の関係の濃さ（社会論的価値）に惹かれる。都市にはないこれらの価値を大切にしながら未来をどう作っていくかが問われている。現在はITを活用し、どこに住んでいても様々な仕事が可能になった。移住者は新しいタイプの仕事をつくる人が多く、そのような移住者を育て、時代にふさわしい価値を地域に上乗せし、山江村で充実感を持って暮らせる状況を作っていくことが地域づくりの本質であるといえる。

# パネルトーク - 誰もが元気で楽しく暮らしやすい村を目指して -

今回のパネルトークでは、100人委員会の9つの部会のこれまでの活動を踏まえ、さらに多くの方に村づくりへ参加してもらうための方策と、村づくりの今後の在り方を考えました。

- コーディネーター：稼ぐという考え方について朝市を開催した山北さんに伺いたい
- 山北早織：利益があったほうが人は早く行動できると感じている
- コーディネーター：観光交流部会では具体的にどのように活動していくのか
- 田村四郎：朝市と連携したボンネットバスを活用した企画を考えていく
- コーディネーター：なぜ子ども食堂や高齢者が活躍する加工場が必要なのか
- 川内孝之：たとえば両親共働きの子どもたちが一人で食事を食べるということをやくない、健康寿命を延ばす目的で高齢者の生きがいをつくりたい
- コーディネーター：山江村未来塾の評価を宮口教授にお伺いしたい
- 宮口教授：経済活動を作ることはそう難しくないが、地域社会のあり方を考えることが難しい。そういったことを行っている100人委員会の取組に敬意を表します。活動について、自分たちが魅力的だと思っていることが必ずしも村外の人にとって同じように受け止められるというわけではない。各部会にアドバイザーがいればより良い方向へ進むのではないかと
- コーディネーター：村長の考える山江村未来塾100人委員会のあり方をお伺いしたい
- 内山村長：もともと山江村は地域づくりについて活動が活発な村。風の会、浪漫探検隊、かチャリンクやまえ、マロンテレビなどなど。村の方がやりたいことを自由に実践し活躍し稼いでもらえる村を目指したい。
- コーディネーター：研究所で作成した冊子の絵はリターンして村に帰ってきた中竹さんが描いている。若者をもっと巻き込むにはどうしたらよいか
- 中竹浩之：会議となると構えてしまい、なかなか意見が出ないが、飲み会であれば沢山の意見が出る
- 宮口教授：村に居酒屋がない。研究所主催で懇親会を1ヶ月1回開催するなど、ぜひそういったコミュニケーションの場を作ってほしい。
- 内山村長：宮口教授が、都市の若者は、地域の人々のワザに惹かれると言っている。では地域の人々のワザはどこにあるかと考えたら、家庭の中にあると私は考えます。そういった視点で農泊を進めていってはどうか。やまえ栗の振興としては、「栗・柚子作ってパリへ行こう」といったようなことをキーワードにしながらか進めてはどうかと考えている。元気で楽しく暮らしやすい村を目指し、これからの活動もお願いしたい。



参加者募集

## ミニセミナー - 人が集まる！チラシの作り方 -



開催日：平成29年7月22日（土）13時30分  
 場所：山江村地域づくり研究所（全60分）  
 講師：稲石 佳子 氏（ぶらんどろデザイン工房）  
 定員：事前申込 8名（参加費無料）



村づくりの悩みやアイデアなど、どんどんご相談下さい。

〒868-0092 熊本県球磨郡山江村大字山田甲 1356-1  
 ☎ 0966-23-3114  
 ✉ yamae-kenkyuuujyo@outlook.jp  
 🌐 http://yamae-lab.jimdo.com/



### 7月の開放日

| 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|----|----|----|----|----|----|----|
|    |    |    |    |    |    | 1  |
| 2  | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  |
| 9  | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 |
| 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 |
| 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 |
| 30 | 31 |    |    |    |    |    |

4月から地域おこし協力隊の高橋あかねさんが研究所に在籍となりました。高橋さんはフットパスなど主に観光事業に携わります。



川口伸也 山本かよ子 高橋あかね

facebook 随時更新中！ 山江村地域づくり研究所 検索